

東筑會報

TOCHIKU
KAIHO
2011.10.1

No. 32



母校の更なる発展のために



東筑会会長

高山和幸

今春の東日本大震災にて被災された皆様にお見舞い申し上げます。

平成23年度の東筑会総会・懇親会が全国から多数の同窓生が参集し盛大に行なわれました。衷心よりお慶び申し上げます。

今回は「東日本大震災復興支援チャリティー同窓会」という趣旨も加えられ、皆様に多額の義援金のご協力をいただきました。

誠にありがとうございます。当番期81期の皆様には心より感謝し、お礼を申し上げます。

さて、母校東筑の後輩諸君は、日頃より「文武両道」「質実剛健」を実践、その活躍ぶりはめざましいものがあります。平成22年度県下高校総合体育大会において学校対抗の部で優勝を勝ち取っています。

大学等上級学校の合格者でも県下5指に入る優秀な成績を収めています。

東筑会としても誠にうれしい限りです。その109期生（高校63期生）358

名が卒業し、東筑会に入会しました。東筑会の一若き会員であります。心から歓迎し、21世紀に生きる若い力に期待するとともに応援をしたいと思っております。

一方、懐かしの本館が改築され今夏竣工しました。第3代本館として新しい校史が始まりました。その本館改築記念事業に対し、ご支援ご協力をお願い申し上げます。より、5月末で早期の目標額を達成することが出来ました。

先の東筑会総会・懇親会において、母校へ贈呈いたしました。誠にありがとうございます。

母校東筑の発展を願う東筑会としては、恵まれた環境の中で勉学に励み、部活動で活躍し、地域の雄として、将来世界に羽ばたく後輩のために支援協力を惜しんではなりません。

最後になりましたが、東筑会の皆様の益々のご健勝と母校の益々の発展を祈念申し上げます。

新しい管理棟 (第3代目) の落成

学校長 増田俊明



東筑会の皆様には、日ごろから母校の教育活動に對しまして様々なご協力とご支援を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、半世紀以上に渡って正門階段を登下校する東筑生を見守り続けて来ましたが、昨年9月から始まった改築工事により解体され、本年7月、3代目の新しい管理棟が同じ場所に完成しました。新管理棟は耐震設備、教育機器等最新の設備を備え、113年の歴史と伝統を持つ本校に大変相応しい建物となっております。

新管理棟の完成に伴い、東筑会の皆様からは机・椅子等の教育機器を多数寄贈していただき、誠にありがとうございました。在校生・教職員一同大変感謝するとともに、この恵まれた教育環境の中でより一層の飛躍を期して頑張っております。

そのような中、今年の夏は野球部が頑張ってくれました。甲子園を目指して県予選を一戦一戦粘り強く勝ち抜き、久しぶりに決勝戦まで駒を進めました。残念ながら最後は力尽きてしまいましたが、教職員や在校生たちは連日の応援を通して、野球部から大きな力をもらったように思います。

このように在校生は先輩方が築かれた伝統

をしっかりと受け継ぎながら、様々な場面で本当に良く頑張っております。勉学や部活動で年々素晴らしい実績を残しているのもその成果だと思えます。これからも文武両道・質実剛健の校是のもと、歴史と伝統を大切に、地域に根ざし地域に愛される学校として、新たな東筑高等学校の創造に努めてまいります。

結びになりますが、東筑会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念しますとともに、母校「東筑高校」への変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます、私の挨拶といたします。



竣工した新管理棟

母校本館改築記念事業の募金実績(目標額 12,000 千円)

実績：12,060 千円 (達成率：100%) 平成23年8月31日現在

期	趣意書発送	寄付数	金額(千円)	期	趣意書発送	寄付数	金額(千円)	期	趣意書発送	寄付数	金額(千円)
12				46	119	19	180	80	275	13	200
13	1			47	114	14	140	81	290	24	285
14				48	195	25	257	82	342	25	240
15				49	352	51	573	83	284	4	35
16				50	415	40	330	84	278	9	90
17	2			51	423	44	420	85	269	10	80
18				52	415	34	289	86	272	7	87
19				53	423	33	262	87	275	4	35
20	1			54	535	53	472	88	346	7	55
21	2			55	338	20	185	89	321	5	45
22	5			56	391	52	615	90	330	9	65
23	5			57	397	57	620	91	327	6	55
24	10			58	366	50	459	92	314	6	40
25	5			59	397	44	480	93	304	7	60
26	4			60	363	34	395	94	269	4	40
27	7			61	341	25	320	95	288	7	50
28	8			62	379	23	184	96	277	2	20
29	8			63	374	43	385	97	295	9	70
30	17	1	10	64	354	20	205	98	326	6	55
31	16			65	336	22	223	99	309	3	25
32	36	3	25	66	331	17	165	100	308	5	25
33	19	1	5	67	313	21	205	101	335	7	60
34	21	1	10	68	287	18	295	102	325	4	35
35	32	6	40	69	326	29	277	103	353	6	50
36	33	2	15	70	334	16	180	104	333	4	40
37	30	2	20	71	331	12	102	105	339	6	55
38	52	4	35	72	358	17	175	106	339	9	80
39	68	5	50	73	298	16	116	107	343	9	75
40	64	8	100	74	304	15	131	108	361	9	95
41	52	3	20	75	340	15	115				
42	75	5	40	76	335	17	160				
43	85	8	75	77	309	9	73	その他		1	20
44	91	14	110	78	283	13	110	暁の松			
45	100	18	160	79	289	9	80	計	21,341	1,235	12,060

母校本館改築記念事業への募金協力のお礼

幹事長 長野 熙

旧本館は、昨年9月に取り壊され、今年7月に新本館が完成致しました。東筑会では、改築記念事業として母校の教育用機器の充実を図るため、皆様には格別なご支援とご協力を賜り、早期に目標額を達成することができました。心から感謝し、厚くお礼を申し上げます。

恵まれた環境で勉学に励み、部活動で活躍する母校の益々の発展を確信いたします。東筑会は、今後とも、伝統ある母校を様々な面で支援して行きたいと思えます。

最後に会員皆様のご健勝を祈念申し上げます。

平成22年度 東筑会会計監査報告

東筑会会長 高山 和 幸 殿
このことについて、下記の通り報告します。

記
平成22年度「東筑会一般会計」「東筑会基本基金会計」について、出納簿・証憑書類等を精査、照合した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成23年 5月17日

会計監査 松 永 等 ㊤
会計監査 加 藤 勝 九 ㊤

- 平成23年度事業計画
- 会則第二条（本会の目的）
達成のため、平成23年度は左記の事業を行う。
- ① 母校発展のため、教職員・生徒・父母との密接な連携・生徒派遣事業の支援
 - ② 各地区東筑会との連携強化
 - ③ 組織網の強化・名簿の拡充（組織委員会）
 - ④ 年会費の納入促進（財務委員会）
 - ⑤ 東筑会報（第32号）の発行（広報委員会）
 - ⑥ 東筑会館資料展示室の整備
 - ⑦ 東日本大震災復興支援チャリティ

平成23年度 一般会計予算書

(収 入)

自 平成23年5月1日
至 平成24年4月30日

費 目	予 算	備 考
繰 越 金	1,089,050	
入 会 金	5,126,400	4,800 × 1,068 人 (110・111・112 期)
会 名 簿 取 入	7,200,000	2,000 × 3,600 人
雑 収 入	1,620,000	4,200 × 350 人 (110 期生)
	10,000	5,000 × 30 人
雑 収 入 計	15,045,450	預金利息他

(支 出)

費 目	予 算	備 考
総 会 費	1,000,000	当番期 (82 期) へ
会 議 費	150,000	議案書、各種会議案内状等
記 念 品 費	160,000	卒業証書入れ (アルバム式)
会 報 費	3,400,000	会報、封筒、振込用紙印刷、 会報郵送料
慶 弔 費	460,000	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅 交 通 費	260,000	各地区東筑会総会出席
会 館 管 理 費	100,000	休祝日、時間外手当
事 務 局 費	930,000	電話・電気料、通信費、パソコン、 コピーリース料、事務室使用料、共益費、 ホームページサーバー料
振 替 手 数 料	400,000	会費振込手数料
賃 料	1,650,000	
教 育 振 興 費	2,000,000	母校教育振興・定期野球大会・生徒派 遣補助金 500,000・図書館充実
名 簿 印 刷 積 立 金	2,000,000	平成 25 年度版 (H25/3 発行予定)
基 本 備 費	0	
予 備 費	2,535,450	
計	15,045,450	

年会費1,000年分の振込み
昨年11月12日、故安達めぐみさん(80期)の母親ヨネ様より、会費百万円の振込みがありました。
故人めぐみさんは「病気療養中から母校を思い、こよなく愛していた、その遺志ですから」と安達ヨネ様より東筑会会費としてご入金いただきました。
11月24日高山会長と事務局(豊倉)が鞍手町の母親ヨネ様を訪ね、ご焼香、丁寧に礼を申し上げました。
東筑会として、故めぐみさんのご冥福をお祈りしますとともに、感謝申し上げます。

平成23年度 総会報告

東日本大震災の復興への思いをこめた総会が、当番期81期のもと6月11日(土) 15時から北九州八幡ロイヤルホテルに於いて開催されました。
司会 佐竹副幹事長(74期)の開会のことばにはじまり、高山会長、増田学校長の挨拶の後、会則に則り議長に高山会長を選出して議事に入りました。
平成22年度事業報告、収支決算及び会計監査の報告があり、異議なく了承。平成23年度の事業計画案、収支予算案が上程、審議の結果、原案どおりに承認。その他、年会費納入目標を5000名で協力をお願いすること、本館改築記念事業1200万円の募金目標達成に感謝する旨の報告がありました。
16時からロイヤルホテルにて懇親会。席上、増田学校長より、進学の実績は例年におとらず赫々たるものがあること、部活動も非常に活発で、福岡県総体学校表彰で総合1位に輝いたこと、竣工した3代目の本館も7月に共用を開始する旨の報告があり、会場より盛んな拍手をうけました。
今回、懇親会の状況をネットで配信する新しい試みがなされるなどして、参加の1300余名が楽しい一時をすごしました。
81期の皆様、楽しい時間をありがとうございました。

平成22年度 一般会計決算書

(収 入)

自 平成22年5月1日
至 平成23年4月30日

費 目	決 算	備 考
繰 越 金	1,286,910	
入 会 金	5,073,600	4,800 × 1,057 人 (109・110・111 期)
会 名 簿 取 入	3,265,000	2,000 × 1,075 人・4,000 × 23 人 1,000 × 23 人・1,000 千円 × 1 人
雑 収 入	1,683,600	4,200 × 358 人 (109 期生)
	333,424	5,000 × 36 人
寄 付 金	10,917	80 期当番期より寄付
雑 収 入 計	11,653,451	預金利息他

(支 出)

費 目	決 算	備 考
総 会 費	1,000,000	当番期 (81 期) へ
会 議 費	120,798	議案書、各種会議案内状等
記 念 品 費	65,782	卒業証書入れ
会 報 費	3,275,969	会報、封筒、振込用紙印刷、 会報郵送料
慶 弔 費	382,220	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅 交 通 費	179,000	各地区東筑会総会出席
会 館 管 理 費	100,580	休祝日、時間外手当
事 務 局 費	1,040,139	電話・電気料、通信費、パソコン、 コピーリース料、事務室使用料、共益費、 ホームページサーバー料
振 替 手 数 料	127,550	会費振込手数料
賃 料	1,650,000	
教 育 振 興 費	2,122,363	母校教育振興・定期野球大会・生徒派 遣補助金 500,000・図書館充実
名 簿 印 刷 費	0	
基 本 備 費	500,000	
予 備 費	0	
計	10,564,401	
差 し 引 き 残 高	1,089,050	次年度へ繰越

平成22年度 基本基金会計決算書

(収 入)

自 平成22年5月1日
至 平成23年4月30日

費 目	金 額	備 考
繰 越 金	20,071,013	
繰 入 金	500,000	一般会計より
雑 収 入	23,685	預金利息
計	20,594,698	次年度へ繰越

当番期を終えて

去る6月11日に開催されました東筑会総会・懇親会では、荒天が予想されたにも拘わらず、多数の同窓生の皆様にご参加頂き誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

多くの不安を抱えながら、当番期の襷を受け取りましたが、予想通り慣れない事ばかりで大変な一年間でした。しかしながら、この当番期のお世話をさせて頂かなかつたら、一生会うことの無かつた同期生や先輩後輩が、どれだけ沢山居たことでしょうか。それほど多くの同窓生の皆様との出会いがあり、先輩の温かさや後輩のたのもしさや同期生との何ものにも替え難い強い絆に触れることができ

た、実りのある一年間でもありました。今年度のテーマは、馴れ親しんだ母校の本館校舎が建て替わることもあり、建物が変わっても東筑会という同窓会はいつまでも同窓生の学び舎であり続けることに思いを馳せ、「水速の学舎（とわのまなびや）」と定め準備を進めてまいりましたが、3月11日に発生した東日本大震災の影響で、急遽復興支援チャリティ同窓会と位置付け、準備していた内容を大きく変更して企画を練りました。

そのため十分な準備が行えず不行き届きでご迷惑をおかけしましたが、皆様方の温かいご支援で、無事総会・懇親会を終えることが

81期会長 小野裕和

でき、ホツと胸を撫で下ろした所です。また、お蔭様で約100万円のチャリティ金が集まり、先日被災地の釜石高校（釜石市）に現地を支援している北九州市を通じて親書を送り、義援金として進呈することが出来ました。あらためまして皆様方のご協力に深く感謝申し上げます。

想定外のハプニングで、大いに戸惑いましたが、終盤は被災地の一日でも早い復興を願いながら東筑生の絆を実感できた、思い出に残る貴重な一年でした。来年は82期の皆様、素晴らしい当番期の企画を行ってくださるのを楽しみにしています。

当番期を迎えて

我々82期は、今年度の総会において81期の先輩から当番期の襷を受け取り、当番期としての活動も本格化しています。

諸先輩方をはじめ、多くの同窓の皆様のご指導とご鞭撻を頂きながら、皆様に心から喜んでいただけるような同窓会を目指して、82期一同、心を一つにして当番期としての一年間を全うしていく所存です。

思い起こせば、この当番期としての活動は、平成16年3月に男性ばかり17名が集まった同期会が始まりでした。それから少しずつ仲間が増えていき、7月現在では会長・副会長・事務局や4つの委員

会の委員の皆さんや、クラス幹事など総勢56名の同期の仲間が、当番期の幹事として具体的な運営に関わってくれています。

また、82期の運営上の手助けとなる協賛金や、同窓会のチケットの購入の協力にも多くの同期の皆さんの協力を頂いていることに、心から感謝いたします。

とはいえ、当番期としてのこの一年の活動は多岐に亘ります。クラス幹事も含めた定例会の開催はもとより、総会、広報企画（HP）、チケット、ゴルフの各委員会の活動や、各地区東筑会への出席等々です。

そこで、82期同期の皆さんに改

82期会長 神森正茂

めてご協力をお願いします。当番期の活動は、大変さもちろんあると思いますが、それ以上に東筑高校に同じ時間・場所を共有した仲間の連帯感や友情、また時代を超えた東筑高校の歴史と伝統を再確認し合える一生に一度しかない貴重な一年間になるものと感じています。毎回の会議終了後に開催する、懇親会の楽しいことはこの上ありません。ぜひ一人でも多くの同期の皆さんの参加をお待ちしています。

それでは来年度の総会・懇親会への皆様の参加を心よりお願いし、挨拶とさせていただきます。

◆ 第28回 東筑会ゴルフ大会成績 ◆

5月13日（金）にザ・クラシックゴルフ倶楽部にて、第28回東筑ゴルフ大会を開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、44期から96期までの227名が参加され、大変賑やかなゴルフ大会となりました。

ハンデキャップは、ザ・クラシックゴルフ倶楽部のダブルペリア方式で行いました。ここに大会成績を発表させていただきます。

入賞された皆様方には心よりお祝い



申し上げます。

以下が、最終成績となります。
(敬称略)

団体の部

- 優勝：58期
- 2位：65期
- 3位：54期

個人の部（期）

●Gシニアの部

- 優勝：仰木 忠男（56期）
- 2位：戸坂 武史（54期）
- 3位：高橋 務（55期）

●シニアの部

- 優勝：菅 十一郎（58期）
- 2位：竹森 久高（65期）
- 3位：村田 成通（59期）

●一般の部

- 優勝：重岡 幸雄（71期）
- 2位：畑中 亮治（68期）
- 3位：鎌倉由志雅（71期）

●女性の部

- 優勝：野原 倭枝（58期）
- 2位：小川三穂子（58期）
- 3位：安高三千代（58期）

皆さまのおかげで、けが人もなく無事にゴルフ大会を終えましたことを報告させていただきますとともに、東日本大震災チャリティに多数のご参加を頂いた事をお礼申し上げます。ありがとうございます。

81期東筑会ゴルフ委員長 村上 修一

会報返却数ゼロに向けて

組織委員長 藤井 紅三(58期)

今年は大変な年になりましたが、同窓の皆様にはお変わりございませんか。なかでも3月11日の東日本大震災では多大の被害を受けた多くの方々に心からお見舞い申し上げます。今もなお、大震災の復旧、復興に向けて国を上げて全力投球がなされている中、今年の大震災総会並びに懇親会が81期の皆様のお世話のもと盛大に開催されました。総会の主な事業計画として各地区の東筑会との連携強化、組織網の強化、年会費の納入促進等について審議されましたが、特に、今回の総会では東日本大震災復興支援チャリティ同窓会の趣旨も加えられました。

これまで組織の強化は同窓生相互の連絡手段として利用されてきましたが、今回の大震災を機に改めて組織網の充実強化の必要性を感じさせられました。その為にも会員名簿の充実が不可欠であります。個人情報保護されないデメリットの部分もありますが、今後、同窓生の個人情報につきましては、より一層厳正な管理、運営に努め同窓生相互の交流にお役に立てるよう努力する所存であります。毎年10月発送の会報につきましても一人でも多くの同窓生の皆様に会報を発送し本校の教育活動や各地区東筑会の現況をお届けしたいと思っておりますので、各期の幹事の皆様には大変お手数をおかけしますが、各地区同窓生に呼びかけ同窓の輪を広げると共に、会報返却数ゼロに向けて同期の皆様のご協力をお願いいたします。

住所変更、改姓の方は東筑会事務局までご連絡ください。

会費納入のお願い

財務委員長 末吉 倫雄(54期)

今年3月に発生した東日本大震災で被害を受けた同窓の方々に見舞い申し上げます。

同窓会々員の皆様には口頭より会費納入についてご協力を頂いておりますが、本会報に掲載のとおり前年度(19・20年度)にくらべて減少となっており、目標の5千名達成がなかなか出来ません。

現在新しい会費納入方法等も検討されていますが、今後の同窓会の安定した活動のためにも全国の会員の方々のご協力をお願いいたします。

本年も23・24年度の振り込み用紙を同封しておりますのでぜひ早めにご送金くださるようお願いいたします。

なお23年度から101期生の年会費納入が開始されますのでよろしくお願いたします。

平成22年度 会報発送・年会費納入状況

期	22発送	22年度	21年度	期	22発送	22年度	21年度	期	22発送	22年度	21年度	期	22発送	22年度	21年度
12				33	19		5	54	535	35	169	75	340	19	59
13	1			34	21	1	2	55	338	17	95	76	335	25	54
14				35	32	1	11	56	391	30	147	77	309	19	45
15				36	33	1	6	57	397	53	133	78	283	7	51
16				37	30	4	6	58	366	32	120	79	289	21	48
17	2			38	52	6	11	59	397	37	138	80	275	12	43
18				39	68	4	18	60	363	28	89	81	290	30	34
19				40	64	5	23	61	341	16	62	82	342	39	33
20	1			41	52	8	16	62	379	31	94	83	284	9	24
21	2			42	75	3	32	63	374	25	89	84	278	11	27
22	5			43	85	3	32	64	354	24	78	85	269	9	19
23	5			44	91	6	33	65	336	18	86	86	272	13	30
24	10			45	100	7	47	66	331	27	66	87	275	9	19
25	5		2	46	119	7	40	67	313	22	66	88	346	10	20
26	4		1	47	114	9	25	68	287	18	51	89	321	8	25
27	7			48	195	11	70	69	326	19	59	90	330	7	24
28	8			49	352	26	117	70	334	20	51	91	327	6	16
29	8			50	415	32	133	71	331	18	57	92	314	14	22
30	17		1	51	423	21	148	72	358	21	62	93	304	10	18
31	16			52	415	32	112	73	298	25	50	94	269	9	21
32	36	1	3	53	423	31	117	74	304	20	56	95	288	8	18
計													21,391	1,122	3,587

平成19・20年度実績 納入者 4,884人 平成23年度より101期生の年会費納入が開始されます。

母 校 近 況

平成23年度進路

大学名	総合格書数	進路先
国立大	607	鹿児島大
公立大	228	鹿児島大
私立大	338	大阪府立大
その他	10	北九州市立大
北海道大	4	九州歯科大
東北大	1	福岡女子大
東京大	5	福岡県立大
東京工業大	1	青山学院大
東京学芸大	1	慶応大
東京農工大	1	国際基督教大
一橋大	1	中央大
横浜国立大	3	東京理科大
名古屋大	3	日本大
京都大	10	法政大
京都教育大	2	明治大
大阪大	7	立教大
神戸大	3	早稲田大
奈良女子大	1	京都外語大
島根大	1	京都女子大
広島大	9	同志社大
山口大	13	同志社女子大
高知大	1	立命館大
徳島大	1	関西大
福岡教育大	11	関西学院大
九州大	85	近畿大
九州工業大	16	岡山理科大
佐賀大	3	久留米大
長崎大	20	西南学院大
熊本大	12	九州産業大
大分大	3	福岡大
宮崎大	4	産業医科大
その他	68	その他

平成23年4月30日現在

各部活動状況

(県大会出場以上を掲載)

(平成23年8月16日現在)

〈言語部〉

- ・第57回全九州高校体育大会
男子個人・男子団体
- ・県高校総体 男子個人

〈剣道部〉

- ・全九州高校体育大会
男子個人・女子団体
- ・全国高校剣道大会
個人・女子団体

〈山岳部〉

- ・第66回山口県体県予選会
少年男子・少年女子ボルダリング
各々3位

〈陸上部〉

- ・第58回県高校大会
女子B 200m・女子A 走幅跳
県高校大会
男子1500m・女子走幅跳

〈水泳部〉

- ・県高校総体
400m・800mリレー 男子総合
200・100m平泳ぎ 100・200m背泳ぎ
100m自由形・100mバタフライ
その他20種目

〈ボート部〉

- ・県高校春季大会
100m背泳ぎ 3位
- ・九州プロック大会
少年男子舵手つきクオドルプル 3位
少年女子シングルスカル 2位
各々山口県体出場
- ・全九州高校大会県予選
女子舵手つきクオドルプル 1位

- 男子舵手つきクオドルプル 1位
- 男子ダブルスカル 1位
- 女子シングルスカル 1位
- 男子シングルスカル 1位・2位
- 各々九州大会出場

〈吹奏楽部〉

- ・全国高校総体県予選
男子舵手つきクオドルプル 1位
- 男子ダブルスカル 1位
- 男子シングルスカル 1位
- 女子舵手つきクオドルプル 1位
- 女子シングルスカル 1位
- 各々全国高校総体出場

〈野球部〉

- ・第93回全国高校野球福岡大会
準優勝
- ・第58回九州朝日レガッタ
女子舵手つきクオドルプル 1位
- 女子シングルスカル 3位

〈テニス部〉

- ・全九州高校体育大会
女子・男子団体
- ・全国高校総体 女子・男子団体
- ・全九州高校体育大会
女子個人・男子個人

〈ソフトテニス部〉

- ・全国高校総体 女子個人
- ・全国高校総体 女子個人

〈バドミントン部〉

- ・県高校総体 男子団体・女子団体
- ・全九州高校体育大会 男子・女子
- ・全国高校総体 男子・女子
- ・全日本選手権大会 女子
- ・全日本高校選手権大会 男子

〈バレーボール部〉

- ・全九州高校体育大会 男子・女子
- ・全国高校総体 男子・女子
- ・全日本選手権大会 女子
- ・全日本高校選手権大会 男子

〈バスケットボール部〉

- ・全九州高校体育大会 女子・男子
- ・第42回全国高校大会 女子
- 県ベスト8

〈音楽部〉

- ・第78回NHK全国学校音楽コンクール県大会 金賞 九州大会出場
- ・第66回九州合唱コンクール県大会 銀賞

〈囲碁・将棋部〉

- ・第27回県吹奏楽コンクール 銀賞
- ・第35回文部科学大臣杯囲碁県大会
女子団体 1位・女子個人 2位
男子個人 3位
- 同全国大会 女子団体 5位
- ・第35回全国高校総合文化祭囲碁県予選

〈放送委員会〉

- ・高文連 放送コンテスト
アナウンス部門・朗読部門
結果・朗読部門 個人入賞
- 女子個人 優勝・男子個人 準優勝
- 同全国大会
男子個人・女子個人 各々5位



財東筑奨学会

支援のお願い

財団法人「東筑奨学会」は昭和56年6月に、学校法人東筑学館の解散後の残余を基礎とし、同窓会・PTA及び地域有志の方々のご寄付を基本金として設立されました。その設立の目的は、「経済社会の激変に伴い、近年思想の著しい混乱の中にあつて、心身ともに発展途上にある子弟の学校教育並びに社会教育が重要である」との観点から、福岡県立東筑高等学校の教育の充実と健全なる校風の振興を援助し、併せて北九州地区の教育の振興に寄与することを旨としています。

具体的活動としては、在校生に奨学金を支給し、或いは生徒の範となる者に対して卒業時に記念品等を贈っています。学業成績が特に優れた者、部活動で全国大会優勝、またはこれに準ずる成績をあげた者、全国大会出場、またはこれに準ずる成績をあげた者、3年間を通じて皆勤した者等が対象となっています。

今後、東筑高等学校も百年の歴史の節目を経て、新たな世紀に歩を進めておりますが、本奨学会も、時代の進展に応じて、事業内容を更に精選充実し、東筑高等学校の文武にわたる振興のために活動いたしたいと思っております。つきましては、皆様に物心にわたるご支援をお願いいたします。

平成23年6月に卒業生から金婚式を迎えた記念として、50万円の寄付をお受け致しました。

奨学会の活動への大きな力となります。厚くお礼を申し上げます。

二十一世紀を担うに足る有徳の青年の育成を目指している東筑高等学校の今後の更なる発展を期して、多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

財団法人 東筑奨学会
理事長 小野 晃

事務局
〒807-0832
北九州市八幡西区東筑
一丁目1番1号
福岡県立東筑高等学校 事務室内
電話 093-691-0050

※奨学金へのご寄附は、左記へ振込みください。ますようお願い申し上げます。

福岡銀行 折尾支店
普通預金 1321864
財東筑奨学会

トピックス

よきかな東筑

野球部部长 山本哲也

同窓会会員の皆さまにおかれましては、夏の大会におきまして多くのご声援をいただき誠にありがとうございます。

13年ぶりの甲子園出場、夏に限れば15年ぶりの甲子園出場を賭けての戦いでしたが、今年も残念ながら出場を果たすことができませんでした。ただ、このチームは、昨年8月に行われた初めての公式戦である市内新人大会で1回戦負けをするところからのスタートだったことを考えると、1年間で大きく成長してくれたのではないかと思います。

昨年7月、「万全の準備」のスローガンのもと「バント・守備・走塁」を大切にしようとしてスタートしましたが前回の1回戦負け。秋の九州大会予選こそ北部準優勝でしたが、今春の九州大会予選ではベスト8とどまり。5月のNHK旗選抜大会では1回戦で福岡工業に大敗、6月の小倉との定期戦でも逆転負けを喫してしまいました。

シード校として迎えた夏の大会でしたが、初戦となる2回戦は門司大翔館に6回表に逆転本塁打を浴びるなど被安打15の辛勝。県大会出場を賭けた3回戦の育徳館戦では好投手相手に3回にワンチャンスで取った2点を守りきるといふ苦しい戦いの連続でした。

久留米で行われた県大会でも毎試合が息詰まる接戦となりましたが、九州大会に出場した自由ヶ丘、九州大会準優勝の飯塚、NHK旗選抜大会で春の甲子園準優勝の九国大付属を下して優勝した福工大城東と優勝候補を次々と下していく間に、選手達はいつの間にか遅く成長していま



がんばれ大応援団

した。このように強豪私学とも懸ぶることなく戦えたのは先輩方の積み重ねてこられた「東筑」の伝統のお陰だと感謝しております。またその間、準々決勝からは全校応援をしていただきましたし、たくさんのお窓生の皆さまが久留米まで駆けつけてくださいました。今更ながら支えられているもの大きさを痛感し、感謝の思いでいっぱいです。多くの人々が校歌を歌い「東筑」の名のもとに一つになれる時は何物にも代えがたい幸福な時間です。できるだけ近い将来甲子園という最高の舞台で皆さまと校歌を歌えますよう、野球部一同、皆さまのご支援に感謝しつつこれからも精進して参ります。

トピックス

109期生を出して

東筑高等学校教諭 宮本 明(76期)

忍ぶれど色に出でにけりわが恋は
ものや思ふと人の問ふまで

有名な平兼盛の歌で、「隠していたのに顔に出してしまった。」というのであるが、これとは逆に「顔に出ないのにバレてしまった」経験がある。

車に乗らないこともあって、休みに街に出ると昼食時にアルコールを少々ということも、まれに(?)あるが、ある日、顔に出ないのをいいことに、少々とは言えない量を飲んで良い気分で行っていたところを、背後からいきなり「センセイ」と呼び止められた。休日のこの一言ほど心臓が悪いものもないが、できるだけ平静を装って振り返ると、卒業生で、「よお、久しぶり。」と言うが早い、「酒臭いですねえ。」である。

こんな酔っ払い的教員人生も今年で27年目になるが、新任の頃、授業諸々うまくいかずに、辞めたい、辞めたいと思っていたのを考えると、随分遠くに来た思いがする。東筑も10年目、今春3年間担任をした109期生を送り出したばかりである。

人と話していて、こちらの職業が分かる、「先生もタイヘンでしょう。イマドキは、生徒も保護者も何だから……。」と慰められることがよくあるが、確かに大変な面もある。授業の下調べ、個人面談、生活指導、小テストの作成、考查の採点、成績表作り、時間割変更、部活動の大会引率、課外の時間割作成、学校行事の指導、保護者会の準備、校内研修、各種出張、家庭訪問、等等。

一つひとつは大した仕事ではなくても、集積するとばかにならない。夏休みの宿題

が多すぎて何から手をつけてよいかわからない生徒のような心境になることもしばしばである。

3年になってからも、自宅学習時間を増やせとクラスで発破をかけたたり、教室でブゼラを吹くなど怒鳴ったり、模試の成績が奮わず落ち込んでいる生徒を慰めたり、体育祭でマリオの仮装をさせられたり、添削を頼まれたT大模試の問題に頭を抱えて半日うなったり、……。

年末からセンター試験の時期には、生徒には受験のプレッシャーが、いよいよ重くかかっていき、教室での笑顔にも心なしか緊張感がのぞくのであるが、教員にもプレッシャーがかかってくる。「早く卒業式よ来い。早く受験シーズンよ終われ。」そんな気持ちで過ごしているうちに、も日は経っていく、そして……。

卒業式の数日前、最後の授業が終わって、「もう何も教えてやれることがないんだ。」と思う。これまで過ごしてきた何でも日常がいかにか大切なものであったかに気づいて愕然とし、世話をしているつもりが、自分の方が支えられていたことに気づいて呆然とする。寂しくて寂しくて、……卒業式の帰りに堀川に飛び込みたくなったほどである。

現在は、3年の副任として110期生を教えています。109期に劣らずかわいいい生徒たちで、毎日楽しく授業をさせてもらい、東筑高校の教員である幸せを噛み締めています。イマドキの東筑生は本当に素晴らしいです。どうか、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

各地区東筑会だより

東京東筑会

今年のトピックスは、秋の懇親会参加費用の改定です。従来、一般男子一万円、一般女子八千円のところ、事前振込にてそれぞれ八千円、七千円と減額しました。さらに、従来大卒5年までの優遇を30歳までに拡大し、参加費用は驚きの五千円でのチャレンジとなりました。(75歳以上と学生は以前よりご招待) 実は、当番期並びに執行部より幹事会には最低金額を六千円で提案しかし、さらに千円減額し五千円とし、総会で決定されました。この意気込みは、単に放っておくと希薄になる絆を繋ぎとめるだけではなく、多様な出会いにより多くの同窓生がこの大東京でどっこい生きていくという事実を目の当たりにし、相互に尊敬し感動の共有を行える、年に一回の懇親会へ多くの方々が参加して欲しいとの思いで



いざ鎌倉へ

しよう。当番81期の方々、今年も最高の会をやってくれてに違いありません。

一方、東京東筑会では多くの同好会が日々活発に活動しています。私自身も参加したくて一度も出ていない会があります。

「鎌倉散策の会」です。東京から電車で1時間ほどの古都を、鎌倉在住30有余年で鎌倉の神社仏閣、歴史に詳しい波田隆利さん(53期)の案内で周るといふものです。日頃の荷物を東京に置き、いざ鎌倉へ。思いは馳せます。他に、げってん、にわだま、ひびきは、それぞれゴルフ、テニス、カラオケの同好会。また「何でん語らん会」では日本や世界の課題を大いに語り、「ミュージアム・サークル」では美術館などを探訪。さらに今後「写真」や「俳句」なども。そうそう、母校現役生の活躍に触発された方々での囲碁サークルを開設する日も近いかもしれません。囲碁部の卒業生の方々は是非、指南役をお願いしたいものです。

会員の絆という観点では、従来のホームページやメルマガ以外にソーシャルメディアが使えるようになってきました。東京東筑会でもツイッターやフェイスブックでの対話を開始しており、実際ここ一年間で多くの同窓生との出合いを体験しています。恐らくは早速に同窓会活動を支える重要な基盤として成長して行くものと思います。新しい基盤も活用し、実際の出合いの感動がより深く広くなるように、今後も活動してまいります。

組織委員長 西本逸郎 (76期) 記

上総東筑会

こんにちは、上総東筑会です。本会は、千葉県の中南部に在住する東筑中学、東筑高校を卒業された方々で構成されています。千葉県のこの地区は新日鐵君津製鉄所や新日鐵総合研究所があり、昭和40年代に八幡製鉄所からこの地区へ移転されてきた方々を中心に、君津市、木更津市、富津市及び



小倉高校OB(あたご会)を交えた懇親会

その周辺地域にお住いになられている方が年一回集まって楽しく懇親しています。

また、この地区には小倉高校出身の方も多く、時には東筑OB对小倉高校OBという懇親会を実施することもあり、卒業後数十年経過しているにも関わらず、良きライバルとして仲良く楽しんでいきます。ところで、今年の懇親会は、なんと東日本大震災の発生した3月11日に開催を予定していた、大変な事態となってしまいました。3月11日、2時46分に発生した大地震の影響で、我々の地もいくつかの大きな被害があり、交通手段は完全に麻痺、携帯電話などの連絡手段は途絶えました。懇親会も中止を考えたのですが、九州や東京などの遠方から駆けつけてくれようとした方々もいらつしやう、また懇親会参加予定者には懇親会を中止か開催するか等の連絡もできず、結局、集まった方々で簡単な食事をするという小さな懇親会を行いました。現在もまだ東日本大震災後の電力供給対策など、日々の生活に影響があります。上総東筑会の方々は皆無

事だったことが幸いでした。

また、最近の本会の動向ですが、20、40代の比較的若い方が多くなりました。4、5年前くらいは、50歳、80歳くらいの方々が多かったのですが、最近はこの地へ来られる若い方も増え、本会は若手と年配の方と地元を懐かしみ、共に語り合う場ができています。今年の懇親会は、大変な一日となつてしまいましたが、来年こそは、多くの方々が集まり、楽しい一時を過ごしていただけることを願っています。

末宗 (82期) 記

東海東筑会

平成23年度の活動報告をいたします。

まずは、第11回テック会を平成22年11月3日(文化の日)に開催いたしました。今回は文化の日にちなんで名古屋市東区内の「文化のみち」の散策……名古屋城から徳川園までの町並み保存地区を歩く……12名の参加を得、楽しい1日でした。

今年度の第25回総会は平成23年4月24日(日)本部より井玉光徳副会長のご臨席を賜り、ホテルプラヤマにて開催いたしました。今回は本部同窓会の当番期81期の小野裕和会長、原田耕太郎氏が東日本大震災の復興支援のためのチャリティ同窓会を企画し手始めとして東海東筑会総会に主旨説明に参加され開催に花を添えました。

懇親会では昔話に、ビンゴゲームで盛り上がり、写真撮影、校歌合唱で最高潮で幕再会を期し散会いたしました。

5月になり22日(日)第12回テック会を開催しました。

東海道五十三次39番目の宿、地鯉鮒(ちりゅう) 現在名・知立、旧東海道松並木から無量寿寺、カキツバタ園散策、14名の参加で、いすがアヤマカカキツバタを楽しむました。

夏に向けて納涼会、役員会を開催予定です。



25回総会を終えて

夏の全国高校野球大会甲子園をめざす野球部の活躍を期待し、東筑会のますますのご発展を祈念いたします。

事務局 木村陸彦(56期) 記

関西東筑会

平成23年度の当番78期より関西東筑会総会・懇親会の状況を報告いたします。日時は5月21日(土)、場所はラマダホテルにて128名の参加のもと開催されました。

総会・懇親会開始に先立ち行われました幹事会にて、例年懇親会の最後に参加者の皆様に協力をお願いしています「ワン・コイン募金」を本年度に限り東筑奨学会への寄付から東日本大震災の義捐金とすること



応援団3名(左:綾部、中:吉田、右:渡辺)のエールとともに校歌斉唱

及び東筑奨学会への寄付は関西東筑会から提出することが決定となり、総会にてその報告が行われ、会員の皆様の温かい拍手のもと、総会から懇親会へとバトンが渡されました。

懇親会は、篠崎総括教頭、井土東筑会副会長、吉野東京東筑会副会長、小野本校当番期会長(81期)のご挨拶に引き続き、山崎達人先輩(41期)による乾杯のご発声で懇親会がスタートいたしました。当番期として懇親会の準備を進めるにあたり、「先輩方及び後輩の皆様との『絆』を深めていく」ことをコンセプトとし、皆様の「笑顔」と「小さな驚き」の創出を目指しました。

懇親会の後半からの現役大学生紹介では、新しい発想をもった意見の斬新さに驚きを隠せず、またクイズの「絆」のコーナーでは年の差が親子以上の差がある先輩・後輩の方の一所懸命相談している姿が印象的で

した。最後の締めは、九州から駆けつけてくれた応援団OB3名とトランペット1名を交え長い校歌を3番まで熱唱。充足感と満足感を胸いっぱい詰り込んでいただき、当番期の挨拶、当番期引継ぎへと続き、無事閉会となりました。

今回、当番期の活動を通して、多くの皆様に支えられていることを実感いたしました。本当にありがとうございます。

田中 徹(78期) 記

広島東筑会

1月11日、成人の日、北九州は大雪、広島は穏やかな夜を迎え第25回広島東筑会を開催(於:広島ガーデンパレス)。中島教頭の近況報告(県総体学校表彰・学校対抗の部第一位)・文武両道の東筑健在に会場沸く。高山会長の乾杯の音頭で開演。

カープの高コーチ(84期)、井生外野手(97期)がカープ優勝宣言(8名の投手陣補強で今年こそは?)。具島画伯(59期)作品展示と解説。ウサギの縫いぐるみで登場した渡辺先輩(50期)がミュージックペルとピアノで「さくら狂想曲」を。82歳とは思えない熱演に場内騒然。私はアルト

サククスで柳原(74期)・田代(77期)姉妹との三重奏で「チャルダッシュ」に挑戦。柳原・田代姉妹はテレビドラマ「竜馬伝」坂の上の雲」テーマ曲を演奏。サーピス精神旺盛な選曲に感動。

欲談タイムの中で田中英子さん(61期)の、一時は医者がさじを投げたと云う大病からの奇跡的生還報告に全員、感動。中には目頭を熱くする人も。

当番期・小野会長、具島副会長が総会・懇親会案内スピーチの後、テーブルを回ってチケット販売に大奮闘。具島さん談「予想以上に沢山売れて感激!」、「それ行けカープ」東筑校歌の大合唱で若さ溢れる感動のひと時。

今回、江口さん(61期)、世羅田さん



大満足と感動で終えた総会・懇親会

(81期)、田中健路さん(91期)の初参加と後藤一誓さん(65期)の8年ぶりの参加を得て会長の私、感動に打ち震える。加えてかつて会場ホテルの支配人を務めた築山さん(60期)の格別の計らいで低額会費(男性5千円、女性3千円)にも拘わらず久しぶりの黒字決算に感動!具島さんの調達による「ますやみそ詰め合わせ」ずっしりと重い手土産に皆さん大満足。感動に次ぐ感動の中、会を閉じた。

会長 高橋昭八郎 記

ふくおか東筑会

平成23年度「ふくおか東筑会」の総会並びに懇親会は5月14日(土)18時から高山東筑会会長、本校の増田校長と久保教頭を



全員が輪になつての校歌斉唱

来賓を迎えて、福岡国際ホール（福岡市中
央区）で開催されました。
今年から会場を天神に移し、週末の開催
となりました。
今回は48期から101期まで昨年を大幅
に上回る150余名の同窓生が集いました。
総会の冒頭に東日本大震災の犠牲者に黙
祷を捧げて哀悼の意を表しました。
総会の中で、増田校長が母校の躍進目覚
ましい現状を資料に基づいて報告されまし
た。

続いて、恒例となつています卒業生によ
る記念卓話に移り、今年は（株）コガの会長
古賀貞巳氏（48期）が「我が青春の東筑」
と題して、昭和19年入学の東筑中学から同
25年新設県立高校卒業までの6年間の当時
の歴史を背景とした特異な学生生活の思い
出について講演をされました。
引き続き懇親会では高山会長のご挨拶
を頂戴した後、ふうおか東筑会顧問の原田

誠一氏（57期）のご発声で乾杯をし、賑や
かな懇親の時間を過ごしました。

また、本年の本校同窓会の当番期である
81期の皆さんが小野会長を中心に、東日本
大震災復興支援のチャリティ記念品の販売
などのデモンストラーションを熱心に繰り
広げられました。

そして、恒例のビンゴゲームとジャンケ
ン大会で大いに盛り上がった後で、全員が
輪になつて、校歌を声高らかに斉唱し、本
校同窓会の盛会を願つてお開きとなりまし
た。

会長 牛嶋俊康 記

吉屋東筑会

第34回吉屋東筑会総会・懇親会を、平成
22年10月23日（土）「国民宿舎マリントラ
スあしや」で開催いたしました。

当日は、東筑高校をはじめ本校東筑会・
近隣7東筑会より来賓のご臨席を賜り、会
員（44／103期）と合わせ70余の出席者
で会場は一杯となりました。

総会は、物故者への黙祷から始まり、会
長あいさつ・来賓の紹介・祝辞など総会次
第に沿って進行し、21年度事業・会計報告
と決算監査報告の議案について承認をいた
だき無事終了しました。

総会に続く懇親会は、校歌斉唱で始まり、
乾杯後の歓談では皆さま学生時代の思い出
話に花を咲かせ、どのテーブルも大変賑
わっていました。また、恒例となりました
お楽しみ抽選会には皆さまに喜ばれる景品
を用意、抽選のたびに「喜」憂するなど、
和やかな雰囲気の中楽しいひとときを過
ごすことができました。

吉屋東筑会も年々会員の高齢化が進んで
いますが、一方で90期以降の若い人たちが
少しずつではありますが会員として名を連
ねてきてくれるようになりました。その若
い人たちが受付や抽選会のお手伝いに、ま
た、23年度本校同窓会の総会当番期「81期



44期から103期で一杯の懇親会

長をはじめ、近隣7地区東筑会より来賓の
ご臨席を賜り、また、当番期（81期）の方々の
協力を得ての開催でした。

総会開会直後に、昨年の総会以後に逝去
されました本会の依口勝美顧問（38期）、
矢島恵子理事（57期）を始めとした物故者
の方々へ対し、また、3月11日に発生しま
した東日本大震災で犠牲になられた多くの
方々に対し、哀悼の意を表して黙祷を捧げ
ました。

十時一浩議長（当番期副会長）の進行の
もと、議事に入りましたが、22年度事業報
告、決算・監査報告、23年度事業計画、予
算案等全ての議案について承認をいただき、
総会は無事終了しました。

今年役員改選の年ではありませんが、
残り1年間の任期を全うすべく、役員一同
決意を新たにしたいところであります。

引き続きの懇親会では、刀根博愛顧問
（39期）の歓迎挨拶及び乾杯の発声を皮切
りに、終始和やかな雰囲気の中、昔話に
花を咲かせ、楽しいひと時を過ごすことが

会」の人たちも各テーブル接待に協力して
くれるなど、会場のあちらこちらで若い人
たちが見受けられる光景に、老・壮年の人
たちも大変喜んでおられました。

最後に皆さまのご協力により総会がス
ムーズに進行できましたこと、また、懇親
会が盛会のうちに終了できましたこと、心
より感謝し厚くお礼申し上げます。

次回もまた、皆さまの元気な姿にお会い
できることを楽しみに、会の運営・発展に
努めてまいります。

会長 藤江宣喜（53期） 記

岡垣東筑会

平成23年度（第36回）総会・懇親会を、
5月8日（日）例年どおり「岡垣サンリー
アイ小ホール」にて開催いたしました。

当日は、高山東筑会々長、増田東筑高校々



和やかに懇親会開会



校歌と万歳で懇親会無事におひらき

できました。
最後に校歌を大合唱、万歳三唱の後、来年度の再会を約して幕を閉じました。
なお、会場内に設置した「東日本大震災義援金箱」に投入いただいた皆様のご芳志は、後日、日本赤十字社に託しております。

会長 田代榮一（52期） 記

遠賀町東筑会

平成22年9月4日（土）に第38回総会を遠賀町コミュニティセンターに於いて開催いたしました。当日は、高山東筑会会長をはじめ、本校より増田校長、中島教頭、隣7地区東筑会より来賓のご臨席を賜り、会員を含め71名での総会となりました。
続いての懇親会では、会場の各テーブルで思い出話に花が咲き、和やかな雰囲気

中、参加者の皆様にビンゴゲームで楽しんでいただき、最後は校歌斉唱と万歳三唱にて閉会となりました。
今回の第39回総会は、平成23年9月3日（土）に遠賀町コミュニティセンターにて開催いたします。総会の会費は例年どおり1,000円ですが、遠賀町東筑会として東日本大震災の被災者の方々に少しでもお役に立てていただきたいとの思いから、会費の一部を義援金として寄付させていただきますことになりました。総会に出席できない会員の皆様におかれましてもご協力いただきたいと願っています。

また、懇親会につきましても充実した内容で開催できるよう準備をし、より多くの方々に参加していただけるよう努力して参ります。

事務局 藤澤 剛 記

中間東筑会

中間東筑会総会 2年ぶり開催

平成24年4月28日（土）予定
2年に一度の中間東筑会総会が来年4月に開かれます。

藤井紅三会長を先頭に心に残る総会懇親会を計画中です。期の若い後輩も気楽に参加出来るように考えています。

乞うご期待を!!
事務局 日高教夫（64期） 記

鞍手東筑会

鞍手東筑会この一年

鞍手東筑会この一年の最大の出来事は、会員へのアンケート調査の実施でした。鞍手町の少子高齢化進行を反映してか、わが鞍手東筑会も高齢化の波に洗われております。一昨年度の鞍手東筑会会員数は、数字のうえでは400名を越えていたものであり



「老人力」で充実の鞍手東筑会

ますが、例年の総会に参加いただく一般会員は30名前後、しかも、出席者の八割が60歳以上という状況でした。さらに、卒業生の大半が町外、県外に進学・就職することから若手会員の加入減少もつづいております。こうした背景のもと、会員への参加意思再確認のアンケートを実施し、総会会場の規模、会報の発行部数などを実施にあつた規模に変更して効率化をすすめようという機運がおこったわけでありました。このアンケート調査の結果、参加意思確認のできた会員は一百名余りとなりました。この結果を反映させ、本年度の総会は、会場を少々手狭ではありましたが地域の公民館とし、懇親会の内容も手作り感のあるものにして、親しみやすい懇親会にできたのではないかと考えております。これからはさらに会の運営事務負担を軽くし、また経費削減の工夫をこらして、コンパクトな運営を目指そうとしていくところであります。一部に「鞍

手東筑会は、同窓会ではなくて敬老会ではないか」という指摘もありますが、東筑高校という場所と青春の時期を共有した同窓生が集うまたとない機会であることに変わりはありません。役員・幹事の経年劣化はありますものの大いに「老人力」を発揮しますます充実した鞍手東筑会にしていきたいと思っております。

会長 岡松正敏 記

おりお東筑会

今年も来ちゃらんね、待つとるバイ

平成22年11月13日（土）、北九州ハイツに於いて約130名の出席のもと、「おりお東筑会総会・懇親会」を盛会裡に終えることが出来ましたこと心からお礼申し上げます。

特に、来賓の皆さま、各期幹事の皆さま、81期の当番期の皆さまに感謝申し上げます。今、「筑豊炭田・堀川（折尾駅）〜八幡



西鉄電車三連の赤レンガ橋がとりはらわれた「おりを」駅前

製鐵」と世界関連遺産群の話が持ち上っています。

筑豊では、山本作兵衛さんの「日本の近代化を支えた炭鉱の時代絵巻」が「世界記憶遺産」に登録され、その快挙に皆が喜びました。石炭採掘の坑夫から坑主へ、そして国会議員となった伊藤伝衛門氏も十代の頃、遠賀川や堀川で「五平太船の船頭」をした事があったとか。石炭の神様、佐藤慶太郎氏も日本最初の美術館「東京府美術館」を寄附したことで有名ですが、この人もかつて堀川沿に住み、孫なる人も今、堀川沿（折尾）に住んでいます。

折尾の街も「折尾地区総合整備事業」により、懐かしい通学路も所どころ歯抜け状態です。工事が少しずつ進んでいます。

西鉄電車の赤レンガ橋三連も昨年9月、とうとう取壊され、かつて九連あった赤レンガ橋も、あと三連のネジリマンポだけがポツンと残っています。このレンガ橋の上を走った、大正3年の九州電気軌道の電車は、九州初御目見えのポギー車で、堀川の川幅と同じ大きさの、長さ7.6m、幅2.1m、定員40人の小さい、可愛い電車だったそうです。「おりを」は今、話題が多いです。辰野金吾作ではと言われた折尾駅舎、右側部分が二階建、左側部分が一階建の形は、日本最古の立体交差点を物語っているそうです。

そこで平成23年7月22日、産業考古学会が北橋市長に「折尾駅保存要望書」を提出し、国指定文化財になり得るのに由緒ある駅を何故壊すのかと訴えました。

6月11日の東筑会総会においても「折尾駅舎を改札口として活用しよう」と署名活動が熱心に行われ、継続中です。

(問い合わせ) 仰木瑞彦

TEL 090-9407-1193
FAX 093-691-6001

最後に、今年も下記のように平成23年度お東筑会総会・懇親会の準備を進めています。多数の参加をお待ちしています。



今春満10歳

○日時 平成23年11月12日(土)総会PM5時
懇親会PM6時

○場所 北九州ハイツ
(送迎バスJR折尾駅西口16時10分)

○会費 4000円
事務局長 中村恭子(61期) 記

水巻東筑会

「水巻東筑会の発展のために」

水巻東筑会は今春、満10歳を迎えました。平成13年2月、水巻在住の46期有志が発起人となり水巻東筑会の設立総会が行なわれました。設立準備に奔走された故大場壽基雄氏を初代会長に選出し水巻東筑会がスタートしました。当初165名の会員でしたが、他界された方や脱会、数名の新加入等で現在126名となりました。

今後水巻東筑会の発展のためには、会員増特に若年会員の加入増に努めなければなりません。総会・懇親会や報発行は年一回ですが、先輩同輩後輩が一堂に会し親睦交流し、同窓の絆を深めることに意義があると思います。

近年、人間関係が希薄になってきたといわれています。たとえ世代は違っても同じ東筑の学舎で学んだ者、グラウンドで汗した者が東筑同窓の輪を広げ絆を深めることに意義があると思います。

水巻在住または勤務の方の水巻東筑会への入会を歓迎します。

会長 梶山 稔(50期) 記

宗像東筑会

平成23年度の宗像東筑会総会・懇親会を4月16日(土)に昨年度と同じく玄海ロイヤルホテルにて開催しました。

当日は天候に恵まれ、東筑会及び東筑高校・東筑奨学会・近隣地区東筑会の多数の来賓、東筑会総会当番期(81期)の方々のご臨席を賜り、盛会裏に無事終了することが出来ました。

前年度の事業報告・収支決算報告・監査報告並びに今年度の事業計画案・収支予算案が提案どおりに承認されました。

引き続き行われた恒例の講演では、門司剛氏(63期)より「海外駐在体験談」インドネシアの紹介と日本との違い」と題して、赴任先のインドネシアでの経験を基にしたお話をいただきました。現地での長年の仕事を通じてのみ知り得るインドネシアの裏事情や裏情報など、大変興味深いお話を賜り、ワクワクするような時間を提供していただきました。

また、懇親会では、ご出席の会員の方々にマイクを渡し、「ひとこと」お話しただいたり、正しい呼吸法の習得にも役立つ「カズー笛」(宗像東筑会)吉廣幹事長のお手製)を皆で吹いたり、全員で「ふるさ



多彩な催しの懇親会

と」を大合唱したりと、終始和やかな雰囲気で行うことが出来ました。

さて、宗像東筑会の活動としては前年度同様に宗像市主催の「むなかた環境フェスタ」のリサイクルマーケットに出店しました。東筑高校の幟を掲げたことも奏功し、大変な盛況でした。今後もこのような地域活動に積極的に関わって、宗像東筑会の名を広めたいと思います。

最後に、当会は発足から8年になります。今後、益々発展させるべく活動して参ります。会員初め関係者の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

事務局長 森 信二(77期) 記

ひのくに東筑会

ひのくに東筑会は発足して満6年を迎えます。これからさらなる飛躍を思っています。矢先に、上月会長が辞任を表明され、やむなく総会で承認されました。新しく新会

ひのくに東筑会生みの親の親の上月前会長が顧問として大所高所からの指導助言をいただきながら、宮川事務局長を核として新役員は頑張りたいと思っています。
 定例の平成23年度総会は5月22日交通センターホテルで開催され、前述の新役員体制が発足しました。本部からは81期の小野裕和会長に來賓として遠路お越しいただき、同窓会の現状、東筑高校の進路状況の報告と、3月11日東日本大震災復興チャリ

- | | | |
|---------|-------------|----|
| 会 長 | 中松 健児 (54期) | 新任 |
| 副 会 長 | 早田 克巳 (58期) | 新任 |
| 副 会 長 | 大庭 英樹 (59期) | 再任 |
| 事 務 局 長 | 宮川 薫臣 (57期) | 再任 |
| 会 計 | 宮口真知子 (65期) | 新任 |
| 会 計 監 査 | 香川 慶実 (60期) | 再任 |
| 会 計 監 査 | 石松 順嗣 (67期) | 再任 |
| 顧 問 | 上月 守 (52期) | 新任 |

長に私(中松健児)が就任しました。
 新役員は次の通りです。



新役員体制での総会

ティール(義援金)の取り組みについての協力依頼等の話がありました。5年ほど前から総会には熊大新入生を招待しており、今年には5名が参加してくれました。学生さんを通して、現代の学生生活や考え方を知る事が出来て、大変勉強になります。近頃の若者はと、やや批判的な事が語られますが、後輩諸君の大学生活は堅実で、若者らしく流刺として、将来に対する考え方もしっかりとっていて、私達がパワーをもらった気持ちです。総会は20名弱の出席者でしたが、遠路毎年お越しになる会員、医師として多忙な毎日であるにもかかわらずやりくりして参加される会員等、熊本市内在住の私達が面目ない思いをさせられます。熊本の地で、東筑同窓生があらゆる分野で活躍されている事を誇りに思うと共に、勇気づけられる総会でした。今後も交流の場を広げる工夫をして、会員相互の連帯をはかり、熊本に「東筑高校あり」という意気込みで、会を発展させたいと思います。総会終了後は、二次会へと流れていき、総会では語られなかったこと、東筑時代の思い出話、現在の政治情勢など、総会とは違ったなごやかな雰囲気や飲みながら語り合いました。真の交流が出来た二次会でした。

会長 中松健児 記



各 期 だ よ り

『暁の松』だより
 永い間ありがとうございました。
 ございました。



会長 林シヅエ (折女26回)

東筑高等学校同窓会の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて折尾高等女学校は、戦後の学制改革に依り、東筑高等学校に併合され従って同窓会も東筑同窓会に合併しました。その中であって折尾高女同窓生は、親睦を深め連絡を密にして、お互いに励まし合い助け合ってゆくことを目的として、昭和44年1月「暁の松」を設立しました。爾来東筑同窓会のご高庇の下全国的に活動して参りました。しかしながら会員の高齢化に伴い、平成23年3月30日の総会を以て、全国的な活動を閉じることに相成りました。今後は各期毎に集りを持ち、出来る限り暁の松の志を続け、東筑同窓会総会、地区東筑会に積極的に参加していく所存でございますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。

これまで賜りましたご高庇に深甚なる謝意を表し、東筑同窓会の益々のご発展と会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

39期だより

卒寿に向って前進!!

去る21年9月15日に黒崎のホテルパールシティにて、米寿の祝賀会を22名の参加で実行出来たことは、同期生が元気で統一力を未だ持ち続けている証拠で嬉しい極みである。

39期の誇りの一つ、それは39期生が奇しくも39年間、同期生のゴルフコンペを継続して来たことである。このコンペは1971年(昭和46年)にスタートし、2010年(平成22年)9月17日、ちさんコンペで189回目で栄光の幕を閉じたのです。今後は各自プライベートで自由に、生命ある限り遊ぶことにしました。出発当時は同期の皆は、49歳の元気盛りで、夫々の職場では運営の主軸という重要なポジションにあったことでしょう。

初代の幹事が日吉幸一で次々に末松良介、堺敏雄、林真澄、梶山憲章、筒井正直、武谷淳次、田代勝次、仰木清久、小野義一、岡部光、最終が刀根博愛である。プレイメンバー総員35名、現存者13名、故人22名です。49歳の若き日々から60歳還暦、70歳の古希を過ぎ、77歳の喜寿を迎



益々意気軒昂。ゴルフ有難う。

え、88歳の米寿を突破してブレイを連続してきたが、その間、誰一人として無傷の者は居なかったのではありません。本人の身体に、心臓バイパス、胃痛手術、肺腫の特種治療、脊椎管狭窄症手術、前立腺手術、糖尿病との闘い、白内障手術、その他多種あり、幾山河を越え、さらにまた、愛妻の重病の介護を成しつつ今日迄、その中であって、ティークラウンドに立つと胸が躍る。幾万キロの青い青い大空。目の覚めるような緑の樹々。可愛い小鳥のささやき。澄みきった甘いおいしい空気が。今日こそは最善を尽くすと熱気湧く。

ゴルフよ有難う。生命ある限り共に進もう。39期生よ!!オール東筑のブレイヤーよ!!何時までも、何時までも、笑顔の前進!!夢への突進を!!

(幹事 刀根博愛 記)

49期だより

49期の再出発

私共49期同期会は昭和26年卒業後、通学6方面別の当番制の世話人で毎年開催して来ましたが、高齢化等諸般の事情から、平成22年度の同窓会から、全方面を統合した幹事の基で計画することになり、11月4日13時から「ホテルクラウンパレス北九州」に於いて開催しました。

先ず物故者の冥福を祈って黙祷の後、多感な少年・少女時代にタイムスリップ、懐かしくほのほとした気持ちで、和気あいあいのうちに、オヤジバンド「ニューソニックジャズオーケストラ」の演奏で、あらかじめ準備していた歌集と、岡田実三郎君構成・演出の「懐メロ大合唱」で楽しいひとときを過ごしました。

最後に「同期会参加が脳を活性化して、物忘れ防止、認知症の予防等老化防止の

効果が大きい」との医師の助言を伝え、元気に次回の再会を約し、東筑49期万歳の歓声と共に散会しました。

幹事組織の変更後初めてのことで、参加者の数? 会の進行は? 出席者の満足度は? 等々、会の成功について諸々の心配もありましたが、数回にわたる新幹事諸君の計画と協力で予想より多く79名(男性51名、女性28名)の出席があり、遠くは関東、関西、佐賀、福岡南部からの参加もあり、ありがたいことでした。ただ当日になって急遽「体調不良」「日時の間違い」等で不参加のあったことは唯一残念なことでした。しかし想像以上に盛会裏に終了出来たこととは、新幹事諸君のお力添えのお陰と感謝しています。

秋晴れや 集える同期 みな若し

高村美智子作

尚、次回平成23年度同期会開催は次の通りです。

会場：ホテルクラウンパレス北九州
日時：11月4日(金) 13時

(幹事 林 秀樹 記)

51期だより

3年4組喜寿のクラス会

心待ちしていた2年に一度のクラス会。今年6月1日~3日、二泊三日で山陰の旅とした。当日東京から3名九州から7名が岡山駅で合流。回を重ねる度に一人二人と減ってゆくのは否めない、が、元気で会えた喜びをかみしめた。そして、爽やかな緑陰のなかを列車で米子へと中国山脈を横切った。

予定通りに到着。旅館の迎車で皆生温泉菊乃家へ。美保湾に面した素敵な部屋が用意されていた。眼下の砂浜に一面に咲く浜昼顔の中で小鳥が4羽何かを啄みながら戯れていた。美肌の湯にゆったりとつかる。身も心も癒される。18時から宴会に入る。席はいつもの通りくじで定める。一つ二つ膝が悪い人の為に座椅子が用意された。補助的な物が必要となる年頃となった。ビールで乾杯!和やかな楽しい宴が続いた。二次会も飲みながら思い出話に花が咲く、時問を忘れて続いた。夜遅くに屋上の露天風呂に行く。遠く彼方に美保関灯台の灯がキラリ：キラリと波間に光っていた。

皆が元気に生きる湯に入る

志村敏行

二日目は朝9時に貸切りバスで、足立美術館へ。まず枯山水式の大庭園と借景の山々が織りなす美の世界に圧倒される。夏季特別展の美人画そして横山大観名品選等々心ゆくまで堪能した。館内でコーヒートケーキの軽い昼食を摂り次の目的地、神々のふる里出雲大社へ。

大鳥居をくぐり松林の参道をぬけると目の前に荘厳な社があった。四拍手してご縁を願う。みんなどんなご縁を願ったか分からない、が3年4組の縁があつてここに元気で喜寿を迎えることができた喜びを揃いのめこの勾玉のストラップに込め記念品



少年少女にもどって

トピックス

同窓生の出版案内

42期 林宏さん

「帆柱自然公園と野鳥たち」

帆柱自然公園には「1333種もの野鳥が確認されている。帆柱の自然の豊かさ」と大切さを知ってほしい」との思いのもと出版されました。西日本新聞にもとりあげられました。

40期 小田弘之さん

「折尾周辺の史跡巡り 改訂版」

平成20年に出版されたものに補整を行い、あらたに4ヶ所追加、59ヶ所のみどころを紹介。「折尾周辺の歴史をたずねるとき、夢は楽しく広がり郷土の無限の楽しさを教えてくれます。」



元気で会えてまずはめでたし

旅の思い出の句が寄せられた。東日本大震災、福島原発事故と気になることばかりですが、みんなが幸せで健康であることを祈りつ。

(51期 阿部道子 記)



志村敏行

出雲路の神のお告げや雲の峰
蜺とる舟おだやかに竿をさし
宍道湖の蜺の朝餉 寿命伸び

とした。ゆつくりと散策して大社を出た。時間が少しあったので鳥根ワイナリーに寄った。今夜の分まで飲むか。などと冗談を飛ばしながら飲み放題の試飲をした後玉造温泉佳翠苑皆美へ。ここも日本庭園10位に選ばれた素晴らしい庭園があった。屋上の露天風呂からは両側にせまる木々の谷間の露天風呂から両側に見えた。今夜の宴会場の前に立ててあった3年4組クラス会の看板の前で初老の紳士が「俺は3年A組だったなあ」と呟いて立ち去った。きつとご自分の青春時代を思い起していたのでしょうか。今夜も食前酒で乾杯！宴も進んだ頃に志村氏替詩による高校3年4組の歌：紅い夕陽が（中略）喜寿を祝おうクラス会：と音程はおかまいなしで自分流に歌う。そしてまた二次会となり今夜も楽しく暮れた。三日目はもう帰る日、朝9時に出発しようとした時だった。フロントの方がバスに走り乗って、〇〇号室の鍵をどなたか、あったバッグの中に、メガネを置き忘れた。金庫の番号を忘れた。などなど、こんな失敗は今まで無かった（？）老化の始りか、とみんなで笑いとばしたが、まあとにかく無事に出発した。そして松江城あたりを散策して、牡丹で知られる大根島を走りぬけ米子から、岡山駅で東京と九州に別れそれぞれの帰路についた。

52期だより

秋の天草旅行

例年の秋の一泊旅行は「天草・イルカウォッチング」に決まりました。

黒崎駅集合、途中博多駅、基山PAでの合流者を入れて男性13名、女性15名計28名の参加で久しぶりの快晴の日の旅立ちでした。昼食は嬉野で1階はみやげ物店、2階は団体様用の食堂、どこにでもあるお店で名物の「温泉湯豆腐」を久し振りに味わいました。

途中小浜温泉を見下ろす展望所で休憩。小浜温泉街を通過するとき、当地の大型ホテル「小浜観光ホテル」の倒産の姿を見て時世かなと思いました。

予定通りホテル着。昭和天皇も御宿泊された宿の出迎えは和倉温泉の加賀屋までとはいかぬまでも心温まる応対でした。夕食も漁師町ならではの、目の下尺五寸

の鯛の生き造り、車海老の踊り食い等々、魚食いを十分に満足させる料理でした。温泉は海岸の側でしたので少し塩分を含んでいましたが柔らかなお湯でした。

二次会の部屋も二週連続の部屋を提供していただき風呂上がりの酔いの覚めた体で飲み直し。時間の制限も無し、更け行く天草の夜を飲み、語り合いました。

翌朝部屋の窓から目の前の浜を見ると白波が立っていました。外海は波が高くイルカは禁止の連絡があり「天草五橋クルージング」に切り替えました。チャーターしていたトイレ付3階建ての艇で、定期のクルージングが行かないコース外を走りまくり「イルカ」より「五橋」のほうが良かったかも、との声が多数ありました。

晴天に恵まれて海の上の空気をたっぷり吸い、タコ飯の昼飯を頂き無事帰路につきました。

(事務局 三好孝臣 記)

57期だより

「物語者をしのぶ会」を開催

私達は平成21年古希の奈良京都旅行を終え、昨年同窓生が七十歳代の大会に入りました。

昭和34年の春に547名が卒業し以来五十有余年がたちくなられた方が77名に達し、連絡が取れない方を除き全体の16%の方が鬼籍にはいられたので、平成22年11月23日「物語者をしのぶ会」を催しました。

このしのぶ会は過去2回実施しており前回平成18年1月には物語者は57名でしたがここ5年間で20名増加しましたので私達の七十歳になった機会に実施したものです。

当日は同窓生51名が参加し過去2回お世話になった八幡西区の弘善寺に集い、同寺のご住職（私達の同級生柴田鳳現さん）により厳かにお経があげられるとともに亡く



故人の分まで元気に

なった同級生のお名前お一人ずつご住職から読み上げられ、故人のありし日の思い出とご冥福を心から祈りました。

その後森同期会の会長から同寺に対し謝辞を申し述べるとともに改めて亡くなった方々のご冥福と出席の方々の健勝を祈り会を終えました。

このしのぶ会の実施に際しましては柴田ご住職の絶大なご支援（供花料・ご供養料は一切受け取られず、その上出席者全員に記念の御数珠を配り茶菓を提供される等）のお陰でなし得ていることを改めてここに披露致しお礼申し上げます。

このお寺様での法要を終え黒崎の「はつしろ」に席を変え皆で昼食を頂きながら亡くなられた方々の思い出話とともに同窓生の懇談を深め、参加した同窓生の今後の健康・発展を祈りながら散会しました。

(57期同窓会幹事 坂本達夫 記)

61期だより

第16回温泉ぶらり旅

早いもので16年を迎える今回の旅は、長崎の「やすらぎ伊王島」に決まり4月15日に水巻の「竹の子」を9時30分に出発。

今年の2月に開通した鞍手インターより高速道に入る。出発して間もなくピールが回ってくる。又、奥様の手作りのおつまみも回ってきてバスの中は宴会状態。途中で何度か休憩を取りながら西へ進む。丁度昼ごろ市内に到着。新地中華街で本場の中華料理を堪能する。長崎弁で言う「ぶらぶらさるく」と大浦天主堂に着く。この前で記念写真をパチリ。これよりグラバー園を見物しようと言う事になり入園料はシニア半額と団体割引となり大変得をした気分である。随分昔に来た事があるが、頂上迄歩いて登っていたのが今では上までエスカレーターが着いていて大変楽に登れた。上から見る長崎湾には建造中の大きなタンカーが2隻浮かんでいてすばらしい景観でした。これより少し時間があったので軍艦島と資料館を見学する。さすがに海に浮かぶ軍艦そ



大浦天主堂前

のものであった。昔建設中に仕事で何度も来ていた100万トンドックを横目にしながら、開通したばかりの伊王島大橋を渡り、本日宿泊するリゾートの島である「やすらぎ伊王島」に到着する。早速荷物を解き、温泉に入る。回りが海のせいかわ塩っぽい温泉である。18時より楽しい宴会が始まる。魚料理がメインで美味しくいただく。部屋に戻り二次会で近況を報告し合う。健康で旅に参加出来る事を、大変ありがたく思いながら床に着く。翌朝は皆さん早くから温泉に入り、ゆったりとしてホテルを出発。灯台の見える夫婦岩迄全員で散歩をし、車で市内迄戻り「出島」を見学する。昼食は港の側の波止場で長崎の料理を堪能する。これより高速道に乗り17時ごろ水巻に無事到着する。今回の旅は天気に恵まれ楽しい2日間の旅でした。来春は阿蘇方面を計画予定。
(61期幹事 古賀正博 記)

67期だより

還暦旅行同窓会

平成23年5月21日(土) 定刻の10時に参加者51名(内女性9名)の内36名が折尾駅西口を出発。途中でビールやつまみを積み込み、一路博多駅へと向かった。他に数名が乗用車1台で合流した。バスの中で最初の「カンパニー」。博多駅から滋賀の野沢君、岡部君、東京の梶岡君、中西君、埼玉の本澤さん、大阪の大塚君、鹿児島の大塚君、7名及び福岡在住者が参加した。昼食会場である呼子の玄海へ到着したのは1時間遅れの1時30分であった。会場では早速「カンパニー」。呼子名物鳥賊の活き造り定食を食べながら昔話やよもやま話に花が咲いていた。予定の1時間が過ぎ、名護屋城跡へと向かった。バスを降りて城跡を散策。途中ベンチに座りお酒の入った紙コップで何度目かの「カンパニー」。昼間に飲む酒はどのようにかもうまいのか。次に唐津市



「カンパニー」の合間の記念撮影

の国の指定重要文化財である旧高取邸へと向かった。杵島炭鉱主の高取伊好(これよしの)の敷地2300坪に建つ邸宅で、ボランティアガイドの説明を聞きながら40分かけて邸内を巡った。バスは虹の松原の唐津ロイヤルホテルに到着。ホテルのロゴを背景に全員で記念撮影。19時に会場で東筑高校同窓会旗を舞台上に掲げ再度記念撮影。高倉、松尾両名の進行で始まった宴会は、まず松尾さんの感謝の気持ちを抱き黙祷を、との言葉に全員起立し、同窓生29名の物故者、及び3月11日の震災及び津波で亡くな

トピックス

第1回 T・N・C福岡県高校OB
チーム対抗ゴルフ大会
個人戦坂本達夫君(57期)優勝!

平成23年8月6日(土)福岡カンツリー倶楽部・和自コースにて、テレビ西日本主催で「第1回T・N・C福岡県高校OBチーム対抗ゴルフ大会」が開催されました。

参加高校は26高校、53チーム、212名の大コンペです。

福岡高校・修猷館高校・小倉高校・東筑高校・明善高校・筑紫丘高校・戸畑高校・三池高校・大濠高校・久留米大学附設高校・東福岡高校等々、有名高校26校の精鋭がずらりと参加して、昨夜の雨も上がったフェアウェイに7時0分、アウトとインコースより同時にスタートを致しました。テレビ西日本のテレビカメラの撮影もあり、会場は大いに盛り上がりました。

東筑高校は「東筑57期会」の2チームを含めて合計6チームと最多の出場で優勝をめざして健闘を致しました。

個人戦で57期の坂本達夫君が見事に優勝を致しました。チーム対抗戦では、明善高校のチームが優勝を致しました。

東筑高校チームの成績は左記の通り。

- 6位 「チームBOFTouch」
- 17位 「TOCHIKU74」
- 27位 「東筑56期会」
- 30位 「東筑57期会No.2」
- 31位 「東筑57期会No.1」
- 48位 「放送禁止」

(57期 青 常紀 記)



られた方々の冥福を祈った。次に後田会長が70歳迄元気でまた同窓会をしましよ
う、と挨拶をし、柴田実行委員長の乾杯
の音頭で「カンパニー」、大宴会が幕を
開けた。広い座敷ではあちこちで車座が
でき昔話で盛り上がった。そうこうする
うちにあつという間の2時間がたつてし
まった。宴会終了後は約30名が二次会へ
流れた。ここでも「カンパニー」。尽き
ることのない昔話やカラオケで盛り上
がったのであった。

翌日は9時40分に出発。バスは虹の松
原を抜けて糸島の酒蔵、杉能舎に向かっ
た。酒蔵では色々な酒を試飲し、カレ
ビール、ソフトクリームをセットでいた
だいた。次に向かったのは大宰府。皆の
健康を祈願して神前にてお祓いを受けた。
大宰府より折尾駅へ戻り、後田会長より
次回は、「65歳になったら関西で再会し
ましょう。」との挨拶があつて解散とな
った。67期のホームページができました。
「東筑高校 67期」で検索して下さい。
(黒川正幸 記)

71期だより

今年是小倉百人一首

〈殖生古典授業〉
資料は手書きでB4にびっしり3枚!!

71期会恒例、殖生先生の古典の授業、
5回目の今年是小倉百人一首でした。

東筑会総会の2時間前に授業は始まり、
まず小倉百人一首の成立・内容を藤原定
家が生きた当時の歴史的・文化的背景と
関連させて、詳細にご説明されました。
続いて各歌についての解説です。どれ
にしようか先生は迷いに迷われたそう
です。

その結果、天智天皇(第38代)・持統
天皇(第41代)・「歌聖」柿本人麻呂・山



どさくさ紛れに はいチーズ!

部赤人・猿丸大夫と最初から5首が選ばれ
ました。ご用意下さった手書きの資料は、
何とB4用紙に3枚びっしり!!
溢れ出る知識から次々と面白い話が飛び
出し、あつという間の2時間でした。

お話があちこちに発展(脱線)するとい
う植生節はいまだ健在でした。現在、韓国
語に挑戦中ということで、先生のひたむき
な向学心に心から敬意を表します。
その後、全体の懇親会、71期の同期会へ
と進んで行きました。出張を設定し遠路東
京から駆けつけてくれた人もいました。

私達は黒崎に繰り出し、カラオケや積も
る話に花を咲かせました。
来年も元気で会いしましょう!
数年後に迫った還暦に向けてイベント
(還暦修学旅行の予定)の企画を始めました。
もう少し具体的にすれば改めてお知らせを
いたします。お楽しみに!!

毎年、授業をして下さる殖生先生どうも
ありがとうございます。
今年の幹事役の浅川君、渡辺さん。パン

76期だより

あれから5年・・・広がる絆

当番期から5年が経ちました。以前にも
お話しましたが、76期は、当番期の翌年か
ら、クラス持ち回りで幹事をして、同期会
を開いています。開催日は東筑総会が開か
れる日、懇親会が終わった後18時頃から
同じホテルの部屋を借りて行われます。幹
事は、二クラス合同で1組と6組のチー
ムからスタートしました。

そして、今年すべてのクラスが幹事を終
えました。来年から二順目です。年々参加
する人は減っていくんだろうなと思ってい
ましたが、毎年40人以上の同期生が参加し
てくださって、ちよつと嬉しく思っていま
す。それも、いつも同じ顔ぶれというわけ
ではなく、中には卒業以来という人もいま
す。やはりちゃんと窓口を開けておくって
大切なことだなあと感じます。

それにこの同期会に留まらず、東京では
4月に毎年花見が行われているし、関西で
は5月に小旅行が行われています。また、
各地の東筑会で76期のメンバーが集まり旧
交を温めています。今年、久しぶりに福岡
東筑会にお邪魔したのですが、同期のS君
が温かくもてなしてくださって、北九州か
ら伺ったメンバーと福岡に住むメンバー10
人ほどで、本当に楽しい時間を過ごしまし
た。そのほかにも沖繩在住のY君とW君が
沖繩旅行を計画してくださって、恩師と共
に楽しいひとときを過ごした仲間もいま
す。当番期の3年前、人が集まるのだろうか
と心底不安に思っていた頃のことか
です。
公私共に忙しいでしょうに、「会うこと」
を大切にしている76期のみんなを素敵だ

と思います。50歳を過ぎ、残念ながらも
この世では会えなくなってしまう友もい
ます。そんな天国にいるみんなのことも思
いながら、この絆が静かにやさしく続いて
いくことを願います。
(76期 竹内容子 記)

78期だより

関西東筑会当番期と50歳の修学旅行

「やあ、久しぶり!」各地から同期が笑
顔で当番期準備室へ入ってくる。それまで
緊張した面持ちでいた関西78期のメンバ
ーにも笑みがこぼれた。なんとアメリカから
大崎君も駆けつけてくれ、応援者35名を含
めた総勢48名が揃った。いよいよ忘れられ
ない2日間の幕開けです。



「50歳の修学旅行」前の一仕事で勢揃い

九州・東京の当番期からはや3年、そのプランクを感じることもなく、昨日も一緒にいたような感じさえ覚えつつ、皆に懇親会での役割分担を説明し、各自持ち場へ。いざ懇親会本番となると、さすが経験者だけあって臨機応変に先輩方に笑顔で接してくれて大変頼もしいものでした。懇親会が順調に進む中、メインイベントである3番までの校歌合唱を、78期応援団OBのエルと吉松君のトランプ・ベッコ伴奏で盛り上げることができ、諸先輩方に非常に喜んで頂くことができました。

さあ、これから再び本番「50歳の修学旅行」の始まりです。大型バスで一路淡路島にある「TOTOシーウインド淡路」へ。1次会では、美味しい料理、お酒、そして高校時代に同じ時を過ごした友との語らい、皆の笑顔がありました。偶然にも当日誕生日の同期(中村君、首藤君)がいて、皆でハッピーバースデーを大合唱。2次会では東京の女子による驚愕!の余興もあり、一段と盛り上がり、3次会では一室に集まり夜が更けるのも忘れてしまうほど皆で騒ぎました。翌日は島内にある伊弉諾神宮の参拝、「夢舞台」見学、その後神戸南京町での昼食後解散となりました。あっといふ間の2日間、32年の時が過ぎたのも感じさせないほど皆パワフルで、語り合い、笑い合い、心から触れ合って明日からまた頑張ろうという気持ちになれたことと思います。このような同窓会を5年後に是非また開きたいものです。

(五所久和 記)

79期だより

当番期から早くも2年が経過し、我々79期生も五十歳に手が届くまで齢を重ねてきました。年々6月の同窓会が早く訪れるような気がしてなりません。今年度

も6月11日の同窓会には約40名の同期生が集い、楽しいひとときを過ごすことができました。また、本会終了後恒例の同期会では、現役時代のクラス別に写真撮影会が行われました。三年時の思い出はもちろん、一二年時のクラスごとのエピソードが紹介されるたびに、とても盛り上がりました。その中で我々が高校二年時の文化祭のプログラムが披露されると、17歳の頃へタイムスリップ。パソコンもワープロも使わず、手作りで制作された、32年前の「宝物」に一層母校への郷愁が募りました。(この様子は79期HPに掲載されています。)

さて、本会に先立ち、5月に開催されました、関西東筑会では木山君を中心に関西在住の同期生が参加し、次回開催へむけて先輩方より引き継ぎをしていただきました。来年5月の関西東筑会では79期が当番となっていますので、再び同期生の一人でも多くの協力が必要です。2年前を思い出して、みんなですてきな会を開催することができるよう頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。

結びに、新築された母校本館に、我々が当番期に作成したポスターの原画(石井康文君作)が飾られる予定です。ここにも、

79期生の「宝物」がまた一つ出来たようですね。感慨も一人です。

(幹事 藤井 潤 記)

ウェブサイト開設

これからの東筑会の情報はウェブサイトをチェック!!



東筑会情報満載!!

- 必要な情報はプリントアウトで即保管。
- 懐かしい校歌や一本松や正門を掲載。
- 場所もすぐに確認できる、お問合わせアクセス。
- 同窓会期リンク集を掲載。

www.tochikukai.jp
スリーダブリュー トウチクカイ ジェイビー

同窓会ホームページ開設

ご連絡下さい

- * 個人情報保護の観点から会員個人情報は適切に管理し、正確性・安全性の確保に努めます。
- * 「会報」郵送後に居所不明で返送分については、「住所不明者リスト」を作成し、各期代表幹事会でお渡ししますので、同期会名簿を整備していただき、住所判明者のご連絡を是非お願いします。(毎年400通前後が返送されています)

☆住居表示に変更のあった方
☆改姓・転居された方

新住所を事務局へ

事務局 Tel 093-603-6815
Fax 093-603-6820
E-mail tochiku_k@ybb.ne.jp
(担当 豊倉)

編集後記

今年に残念ながら先ず去る3月11日に発生した東日本大震災とそのことにより引き起こされた原発事故を取り上げねばならない。巨大地震と超大津波による死者・行方不明者は2万人を超えた。原発事故による大量の放射性物質の放出は、戦後最大の悲劇であり、国難をもたらした。解決すべき多くの課題が発生した。自然現象に対する畏敬の念、世界で唯一の原発被災国である日本が放射能の恐怖を忘れたかのごとき対応の甘さ等々、想定外では済まされない。この際、政治、電力会社、地域等の所為とするのではなく、国民一人一人が謙虚に受け止め、力を合わせ、戦後後短期間で世界第二の経済大国に成長し、世界の奇跡といわれた底力をもう一度結集し、被災地の復興そして日本国を再生しなければならぬ。幸い国内だけでなく全世界から大きな関心と支援を頂いている。「災いを転じて福となす」頑張ります。

次に、7月18日、女子のサッカーワールドカップでアメリカを決勝で下し見事初の世界一となったナデシコジャパンの快挙、東日本大震災で日本が大変厳しい状況に置かれていた時、被災地の皆さんは勿論、全国民に勇気と希望を与えてくれた。団体としては初の国民栄誉賞の受賞もむべなるかな、有難う、そしておめでとう。

会員の皆さん、今回も多数の投稿有難うございました。各地区東筑会便り、各期便り、活性化のためいろいろ工夫努力されている様子がよくわかります、有難うございます。会報委員一同、皆様に親しみ楽しんで頂ける会報となるよう一層努力する所存です。ご意見、ご要望を是非お寄せ下さい。

会報委員長 江藤幹男